

平成 23 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 松山市社会福祉協議会

【一般会計】

1 法人運営事業

- (1) 社会福祉協議会運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 退職積立・給付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (3) 基金管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (4) 社協会員加入促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (5) パソコン等情報機器管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (6) 小口資金等償還促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (7) 積立金等管理運用事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

2 地域福祉活動事業

- (1) 地域福祉サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (2) 介護相談員派遣事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (3) 地区社会福祉協議会連絡会運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

3 ボランティア活動支援事業

- (1) ボランティアセンター運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

4 共同募金配分金事業

- (1) 在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- (2) 地域福祉活動支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- (3) 福祉センターまつり開催事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- (4) 傾聴スキルアップ講座事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- (5) 古武術式カラダにやさしい介護術研修会開催事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- (6) 地域交流サロン助成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- (7) フェイストレーニング講座事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- (8) 共同募金地区社協配分事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- (9) 福祉団体助成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- (10) 地域福祉活動推進計画委員会運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- (11) 地区社協基盤整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- (12) 広報啓発事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- (13) ホームページ運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- (14) 災害見舞金支給事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- (15) 公用車両整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- (16) 懐かしの名画劇場開催事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- (17) 安心カードみまもり支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- (18) キッズカレッジ～みんなの居場所づくり～事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- (19) 松山市社協創立 60 周年記念誌作成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- (20) 東日本大震災復興・追悼事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

5 福祉サービス利用援助事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

6 まごころ銀行運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

7 資金貸付事業

- (1) 生活福祉資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

(2) 臨時特例つなぎ資金貸付事業	20
(3) 生活福祉資金相談体制整備事業	20
8 障害者総合相談窓口事業	20

【公益事業会計】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業	22
(2) 地域福祉支援システム管理運営事業	23
(3) 番町福祉センター管理事業	23
(4) 北条社会福祉センター管理運営事業	23

2 高齢者等いきいき支援事業

(1) 愛の一声訪問事業	24
(2) 在宅ねたきり高齢者理容サービス事業	24
(3) 配食サービス事業	24
(4) 福祉機器貸出事業	24
(5) 松山健康づくり体操教室事業	24
(6) 離島介護サービス対策事業	24
(7) まつやまシニアカレッジ事業	25

3 ふれあい・いきいきサロン運営事業

4 いきがい交流センターしみず管理運営事業

5 社会福祉従事者研修事業

(1) 介護員養成研修事業（2級課程）	30
(2) 移動支援従業者養成研修事業	30

6 巡回入浴サービス事業

7 要介護認定等訪問調査事業

(1) 要介護認定訪問調査事業	30
(2) 障害程度区分認定調査業務委託事業	30

8 法人成年後見事業

(1) 法人成年後見事業	31
(2) 市民後見推進事業	31

9 広報・啓発事業

(1) 福祉大会事業	32
(2) ボランティア育成定期講座開催事業	32

10 社会福祉施設等支援事業

(1) 介護サービス事業者調査事業	33
(2) ケアプラン評価等事業	33
(3) 障害福祉サービス事業者等支援事業	34

【はじめに】

少子・高齢化の進行や長引く経済不況等を背景に、住民の福祉ニーズは増大かつ複雑・多様化しており、これらに適切に対応しながら、誰もが安心して暮らすことができる地域社会をつくり上げていくためには、安定した社会保障制度の確立とともに、地域の福祉資源を活用した住民主体の地域福祉活動の展開やこれを支える総合的な支援体制の構築がこれまで以上に求められております。

こうした状況を踏まえ、平成 23 年度においては、第 2 期松山市地域福祉活動推進計画に基づき「地域発！ふくしパワーでまちづくり」を基本テーマに、地域住民との協働による「ふれあい・いきいきサロン運営事業」の拡充や本会の特性である公平性・中立性を最大限に活かした「要介護認定訪問調査事業」等の推進に取り組むとともに、新たに要援護者に対する支援体制の強化を目的とした「安心カードみまもり支援事業」や「市民後見推進事業」、さらには地区社協活動の一層の活性化を図るための地区社会福祉協議会連絡会の設立など、本会の使命である地域福祉の推進に積極的に取り組み、成果を挙げることができました。

また、未曾有の被害をもたらした東日本大震災に対しては、本会の機能を活かしながら義援金募集や被災地の災害ボランティアセンターに職員を派遣する等、被災地復興に向けた支援活動を積極的に展開して参りました。

【一般会計】

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業

本所及び支所の運営全般を行うとともに、理事会・評議員会の開催や公認会計士・顧問弁護士の配置等を通じ適正な法人運営や事業運営を図った。

① 理事会・評議員会

ア. 理事会

開催日	出席者	議案
平成 23 年 5 月 30 日	14 名	議案第 7 号 平成 22 年度事業報告について 議案第 8 号 平成 22 年度収支決算について 議案第 9 号 評議員の委嘱について
平成 24 年 3 月 27 日	14 名	報告事項 給与規程の一部改正について 議案第 1 号 平成 23 年度資金収支補正予算について 議案第 2 号 平成 24 年度事業計画について 議案第 3 号 平成 24 年度資金収支予算について 議案第 4 号 松山市総合福祉センターの管理運営に関する 年度協定について 議案第 5 号 評議員の委嘱について

イ. 評議員会

開催日	出席者	議案
平成 23 年 5 月 30 日	37 名	議案第 6 号 平成 22 年度事業報告について 議案第 7 号 平成 22 年度収支決算について 議案第 8 号 理事の選任について
平成 24 年 3 月 27 日	42 名	報告事項 給与規程の一部改正について 議案第 1 号 平成 23 年度資金収支補正予算について 議案第 2 号 平成 24 年度事業計画について 議案第 3 号 平成 24 年度資金収支予算について 議案第 4 号 松山市総合福祉センターの管理運営に関する 年度協定について 議案第 5 号 理事の選任について

② 職員研修会の実施

開催日	参加者	内 容
平成 23 年 9 月 5 日 17:30～19:00 市総合福祉センター 5 階 中会議室	71 名	研修 「災害ボランティア活動を通じて 東日本大震災から学ぶもの」 報告者：被災地への派遣職員 5 名 被災地でのボランティア活動報告等
平成 23 年 12 月 13 日 17:30～19:00 市総合福祉センター 5 階 中会議室	68 名	研修 「安全運転講習会」 講師：NKS J リスクマネジメント㈱ 竹内 圭三 氏
平成 24 年 3 月 15 日 17:45～19:30 市総合福祉センター 1 階 大会議室	78 名	研修 「災害ボランティアセンター設置・ 運営訓練」 説明・進行：地域福祉課 ボランティアセンター職員 オブザーバー：愛媛県社協職員

③ 東日本大震災復興支援活動

東日本大震災の復興支援を目的として、松山市や愛媛県社会福祉協議会等関係機関・団体と連携を図り、積極的な支援活動を行った。

内容	支援状況 【 】内はH22年度からの累計
義援金等	○義援金等総額 6,338,785 円【10,517,974 円】 ○募金箱の設置 ・総合福祉センター、北条支所（北条社会福祉センター）、 中島支所、いきがい交流センターしみず
街頭募金	○実施回数 2 回【10 回】 ○参加者数 延 27 名【延 615 名】 ○募金額 37,690 円【2,740,897 円】（義援金総額に含む）
見舞金	○支給総額 1,670,000 円 ※支給額：1 世帯当たり 20,000 円（子供のみ 10,000 円） ○支給世帯数 84 世帯
人的支援	○ボランティア ・救援物資仕分けボランティア 延 18 名派遣 ・災害ボランティアバス（県・県社協主催で 7 回実施） 延 75 名派遣（松山市より） ○職員 ・被災地の災害ボランティアセンター運営支援 1 名派遣（宮城県女川町） ・被災地の復興支援及び職員のスキル向上 第 5 回～第 7 回災害ボランティアバスへの参加 6 名派遣（宮城県女川町他）
その他の支援事業	○ボランティアへの情報提供及びボランティア活動保険の受付 ○被災者激励のメッセージ募集 ・応募件数：149 件（宮城県女川町災害ボランティアセンターへ送付） ○東日本大震災復興支援チャリティーコンサート（H23. 5. 29） ・収益金 343,731 円をボランティア活動支援として寄付（義援金等総額に含む） ○東日本大震災写真パネル展（H23. 8. 29～） ○被災学校支援のためのベルマーク募集（H23. 9. 1～） ○東日本大震災写真パネル展及び女川町物産展 （H23. 11. 19～20 若草福祉まつり 2011） ・売上金 108,750 円を被災地への義援金として寄付（義援金等総額に含む） ○“みかん”を贈ろう！ 我ら女川町応援団（H23. 12. 2） ・寄付を受けたみかん約 6,000 個と激励のメッセージ約 1,000 枚を、60 名のボランティアと職員で袋詰し、第 7 回災害ボランティアバス参加者で 685 戸の仮設住宅と福祉施設に配布

その他の 支援事業	○松山から想いを～東日本大震災、あの日を忘れない～（H24. 3.11） ・東日本大震災発生後1年を機に、1,000個のキャンドルへの灯火やメッセージ等を通じて、犠牲となった方への追悼や大震災への想いを再認識する機会として開催 参加者：一般市民、ボランティア、福祉関係者約400名 ・寄付金：123,708円を女川・桜守りの会活動支援に寄付（義援金等総額に含む） 共同募金配分金事業（P-18）に掲載 ※上記事業はいずれも市総合福祉センターを拠点として実施
--------------	---

（2）退職積立・給付事業

退職積立金の適正な管理・運用を行うとともに、退職者への給付業務を行った。

定年退職者 1名

（3）基金管理事業

国債や定期預金等の適正管理を行い、運用利息等の増収に努めた。

基 金 名	元 金	運用利息	率
松山福祉振興基金	1,668,368,282 円	12,898,825 円	0.773%
松山市ボランティア基金	300,000,000 円	2,280,920 円	0.760%

（4）社協会員加入促進事業

市社協への理解と支援の拡充及び安定した財源を確保するため会員の拡大に努めた。

会員種別	会員数	口 数	金 額
個人会員（個人）	2,048 名	2,662 口	2,662,000 円
特別会員（団体）	147 団体	265 口	1,325,000 円
賛助会員（企業）	47 社	49 口	490,000 円
計			4,477,000 円

（5）パソコン等情報機器管理事業

事務事業の効率化及び情報の共有化を図るため、パソコン等の情報機器を整備し、安全・安心なネットワーク環境の整備に努めた。

設置台数 社協 LAN 60 台、調査業務 38 台

（6）小口資金等償還促進事業

低所得者小口資金貸付事業及び母子家庭等小口資金貸付事業の事業終了にともない、未償還の貸付金回収に努めた。

資金名称	償還件数	償還金額
低所得者小口資金	1 件	10,000 円
母子家庭等小口資金	28 件	106,000 円

（7）積立金等管理運用事業

各種積立金の適正な管理を行うとともに、事業費への充当等効果的な運用を図った。

積立金等名称	積立額 (H24. 3. 31)	事業充当額	充当事業名等
事業推進積立金	29,080,953 円	430,179 円	要介護認定訪問調査事業外 12 事業 (福利厚生費分等)
特別寄付金積立金	93,864,076 円	2,000,000 円	三津浜地区社協 (事業助成)
	54,284,131 円	7,519,269 円	地区社会福祉協議会連絡会 運営事業外 3 事業

2 地域福祉活動事業

(1) 地域福祉サービス事業

地区社協を実施機関とし、住民参加のたすけあい（自助・互助）の精神を基調とした預託点数制による住民参加型在宅福祉サービスの提供をはじめ、福祉学習、協力会員の研修、福祉だよりなどの福祉教育や啓発活動等を行うとともに、関連事業との連携強化を図り、誰もが地域で安心して暮らせるよう地域福祉活動を推進した。

① 諸会議の開催

会 議 名	内 容 等
地区社協会長・事務局長合同会	開 催 日 平成 23 年 4 月 13 日 出 席 者 78 名 (地区社協会長・事務局長他) 報告事項 (1) 地域福祉サービス事業活動状況について (2) ふれあい・いきいきサロンの活動状況について 説明事項 (1) 平成 23 年度地区社協関連事業実施計画について (2) 平成 23 年度地区事業推進費支払基準について (3) 平成 23 年度地域福祉サービス事業実施計画・収支予算書について (4) 平成 22 年度地域福祉サービス事業実施報告・収支決算書について (5) 平成 23 年度一般会計事業実施計画・収支予算書について (6) 平成 22 年度一般会計事業実施報告・収支決算書について (7) 各種助成金事業について ① 福祉学習事業 ② 地域交流サロン事業 そ の 他 (8) 地域福祉活動計画策定状況について (1) 地域福祉課業務執行体制について (2) 経理状況調査について (3) 地区社協書類等保管年数について
地域福祉サービス事業検討会	開 催 日 平成 24 年 3 月 15 日 出 席 者 14 名 (委員) 内 容 ① 委員長・副委員長の選任について ② 地域福祉サービス事業の現状と課題について ③ その他

② 地区別経理調査 平成 23 年 4 月 11 日 ～ 5 月 24 日まで 40 地区にて実施

③ 事業実績

ア. 会員数 (平成 24 年 3 月 31 現在)

利用会員			協力会員		
男	女	計	男	女	計
150 名	607 名	757 名	246 名	1,869 名	2,115 名

※ふれあい・いきいきサロン事業利用者は利用会員に含まない。

イ. サービス活動状況

延派遣回数	延派遣時間数	延預託点数
6,877 回	14,648.5 時間	29,297 点

・地区別協力会員研修会（各地区社協にて開催）

・福祉学習事業

地区社協が実施する地域住民等への福祉活動に対する理解や地域福祉活動への参加促進を図る福祉学習事業に必要な助成（1地区80,000円以内、ただし、新規事業は100,000円以内）を行い、地域住民の主体的参加による福祉コミュニティづくりを推進した。（163回開催）

・地区社協だよりの発行（各地区：1～4回発行）

④ 研修会等の開催

研修会等	内 容 等
地区社協育成 パソコン教室 （個別アドバイ スコース）	会 場① パルソフトウェアサービス 開催期間 平成23年7月6日～平成24年3月21日 開催回数 18回 会 場② いきがい交流センターしみず 開催期間 平成23年7月7日～平成24年3月22日 開催回数 18回 参 加 者 延167名
地区社協 援護部長会	開 催 日 平成23年7月28日 出 席 者 34名（援護部長） 講 演 演題「精神疾患を抱える方とどう向き合うか」
地区社協 啓発調査部長会	開 催 日 平成23年7月28日 出 席 者 36名（啓発調査部長） 講 義 大解剖「福祉だより」
地区社協 コーディネーター 研修会	開 催 日 平成23年11月21日 内 容 講義「住民参加の理念と方法」 シンポジウム「地域の課題に対し、どう動きますか？」 参 加 者 34名
	開 催 日 平成23年12月6日 内 容 講義「ネットワークの必要性とコーディネーターの役割」 事業説明 （1）障害者総合相談窓口について （2）福祉サービス利用援助事業について （3）地域福祉サービス事業について 参 加 者 35名

（2）介護相談員派遣事業

介護相談員がグループホームを訪問し、利用者の視点に立った市民の立場で利用者と事業者間の円滑なコミュニケーションを促進し、福祉・介護サービスの改善を図るとともに、介護相談員の養成とスキルアップ研修等を実施し活動環境の整備を図った。

① 実施状況

地区名	受入グループホーム名	訪問回数	相談員延人数
清水地区	ハッピー中央Ⅰ	12回	26人
	ハッピー中央Ⅱ	12回	28人
	紫竹庵	25回	70人
	つばさⅠ	10回	29人
	つばさⅡ	10回	28人
石井西地区	だんだん	2回	4人
合 計		71回	185人

② 相談内容等・件数

相談内容	相談件数
食生活に関する相談	18 件
住生活に関する相談	11 件
施設ケアに関する相談	16 件
対人関係に関する相談	5 件
その他（感想など）	15 件
合 計	65 件

③ 介護相談員連絡会・研修会の参加及び開催

会議名	開催日等	内 容
連 絡 会	平成 23 年 6 月 15 日 13 : 30～14 : 20 参加者 15 名	場所：いきがい交流センターしみず 参加者：介護相談員、地区社協会長、 社協事務局 内容：挨拶、オリエンテーション ○新規グループホーム（つばさ）への訪問に ついて ○訪問スケジュールの確認 ・訪問日やメンバーの確定 ○その他 ・相談員証の回収
	平成 24 年 3 月 14 日 13 : 30～15 : 00 参加者 22 名	場所：いきがい交流センターしみず 参加者：介護相談員、地区社協会長 受け入れグループホーム管理者 介護保険課、社協事務局 内容：挨拶、自己紹介、連絡会概要について ○活動報告・実績について ・介護相談員活動状況 ・傾聴スキルアップ研修Ⅰ、Ⅱ ・4 月～2 月相談内容・記録票の内容説明 ○フリートーク ・各グループホーム別に分かれて話し合い ・今後の活動等について ○その他 ・相談記録票の様式変更について ・訪問体制について
愛媛県現任 介護相談員研修	平成 23 年 9 月 6 日 9 : 45～15 : 45 相談員 3 名	場所：県社会福祉会館多目的ホール 参加者：介護相談員、事務局職員 内容 ○開会挨拶 ○講義 (1) 「高齢者人権を守る」 (2) 「身体拘束とケアのあり方」 ○報告 「介護相談員活動報告」
	平成 23 年 9 月 7 日 10 : 00～15 : 40 相談員 11 名	場所：県社会福祉会館多目的ホール 参加者：介護相談員、事務局職員 内容 ○講義「利用者からの苦情の現状」 ○講義・演習「コミュニケーション技法とト レーニング」

研修会 「介護の日 イベント」 ～ひとりじゃないよ絆～	平成 23 年 11 月 10 日 13:00～15:00 相談員 9 名	場所：市総合福祉センター 大会議室 参加者：介護相談員外福祉関係者 内容 ○講演「被災地からのメッセージ」 ○認知症家族の会、消防署防災相談コーナー、 パネル展等
傾聴スキル アップ研修	平成 24 年 1 月 18 日 13:30～15:30 相談員 14 名	場所：いきがい交流センターしみず 参加者：介護相談員、事務局職員 内容：「ここをつなぐコミュニケーション」 ・講師 サクセスブレインズ産業カウンセラー 看護師 米子早苗氏他 2 名 ・講話、スーパーバイズ、ワーキング
	平成 24 年 1 月 25 日 13:30～15:50 相談員 13 名	場所：いきがい交流センターしみず 参加者：介護相談員、事務局職員 内容：「ここを支える傾聴」 ・講師 サクセスブレインズ産業カウンセラー 看護師 米子早苗氏他 2 名 ・講話、傾聴のワーキング

(3) 地区社会福祉協議会連絡会運営事業

市社協と地区社協の連絡調整機能を強化し、各地区社協相互の情報交換及び連携・協働を促進することにより、市社協及び地区社協の事業・活動の更なる活性化を図った。

①会議及び研修会等の開催

会 議 名	内 容 等		
設立総会	開催日	平成 23 年 4 月 13 日	
	会 場	市総合福祉センター 5 階 中会議室	
	参加者	78 名 (会長・事務局長合同会参加者)	
	議 題	議案第 1 号 松山市地区社会福祉協議会連絡会設置規程 (案) について	
		議案第 2 号 会長・副会長の承認について	
		議案第 3 号 活動方針について	
理事会	開催日	平成 23 年 4 月 13 日	
	会 場	市総合福祉センター 5 階 中会議室	
	参加者	8 名 (理事)	
	議 題	議案第 1 号 「会長・副会長の推薦について」	
ブロック会議	第 1 ブロック	第 1 回	日 時 平成 23 年 8 月 19 日 会 場 伊台公民館 協議事項 ・地域福祉サービス事業の各地区の状況について ・今後のブロック会議について ・その他
		第 2 回	日 時 平成 24 年 1 月 10 日 会 場 伊台公民館 協議事項 ・ブロック研修会について ・その他
	第 2 ブロック	第 1 回	日 時 平成 23 年 8 月 31 日 会 場 荏原公民館 協議事項 ・地域福祉サービス事業の各地区の状況について ・今後のブロック会議について ・その他

ブロック会議		第2回	日 時 平成 23 年 12 月 2 日 会 場 荏原公民館 協議事項 ・ブロック研修会について ・その他
		第3回	日 時 平成 24 年 3 月 19 日 場 所 飯台 協議事項 ・ブロック研修会の反省について ・その他
	第3 A ブロック	第1回	日 時 平成 23 年 8 月 18 日 会 場 番町福祉センター 協議事項 ・地域福祉サービス事業の各地区の状況について ・今後のブロック会議について ・その他
		第2回	日 時 平成 23 年 12 月 5 日 会 場 番町福祉センター 協議事項 ・ブロック研修会について ・まちなかサロン（仮称）について ・その他
	第3 B ブロック	第1回	日 時 平成 23 年 9 月 27 日 会 場 道後支所 協議事項 ・地域福祉サービス事業の各地区の状況について ・今後のブロック会議について ・その他
		第2回	日 時 平成 23 年 12 月 12 日 会 場 道後支所 協議事項 ・ブロック研修会について ・その他
	第4 ブロック	第1回	日 時 平成 23 年 8 月 30 日 会 場 市総合福祉センター 協議事項 ・地域福祉サービス事業の各地区の状況について ・今後のブロック会議について ・その他
		第2回	日 時 平成 23 年 11 月 25 日 会 場 市総合福祉センター 協議事項 ・ブロック研修会について ・その他
	第5 ブロック	第1回	日 時 平成 23 年 8 月 23 日 会 場 味生支所 協議事項 ・地域福祉サービス事業の各地区の状況について ・今後のブロック会議について ・その他
		第2回	日 時 平成 23 年 11 月 14 日 会 場 味生支所 協議事項 ・ブロック研修会について ・その他
	第6 ブロック	第1回	日 時 平成 23 年 8 月 11 日 会 場 市交流センター 協議事項 ・地域福祉サービス事業の各地区の状況について ・今後のブロック会議について ・その他
		第2回	日 時 平成 24 年 1 月 6 日 会 場 市総合福祉センター 協議事項 ・ブロック研修会について ・その他

ブロック会議	第7ブロック	第1回	日 時 平成 23 年 8 月 24 日 会 場 久枝支所 協議事項 ・地域福祉サービス事業の各地区の状況について ・今後のブロック会議について ・その他
		第2回	日 時 平成 23 年 10 月 1 日 会 場 堀江公民館 協議事項 ・ブロック研修会について ・その他
	第8ブロック	第1回	日 時 平成 23 年 6 月 28 日 場 所 北条社会福祉センター 協議事項 ・地域福祉サービス事業の各地区の状況について ・今後のブロック会議について ・その他
		第2回	日 時 平成 23 年 9 月 20 日 場 所 北条社会福祉センター 協議事項 ・ブロック研修会について ・その他
		第3回	日 時 平成 24 年 2 月 28 日 場 所 北条社会福祉センター 協議事項 ・各地区社会福祉協議会の活動状況について ・今後の活動について ・その他
	ブロック研修会	第1 ブロック	日 時 平成 24 年 3 月 12 日 会 場 伊台公民館 内 容 講演会 「一人ひとりのまちづくり」 参 加 者 59 名
第2 ブロック		日 時 平成 24 年 2 月 29 日 会 場 テクノプラザ愛媛 内 容 基調講演 「今、求められる住民相互の支え合い・助け合い」 事業説明 「地域福祉サービス事業について」 パネルディスカッション 「地域福祉サービス事業の現状と課題について」 参 加 者 220 名	
第3 A ブロック		日 時 平成 24 年 3 月 5 日 会 場 番町福祉センター 内 容 事業説明 「地域福祉サービス事業について」 講演会 「まちなか発！共助の社会」 参 加 者 81 名	
第3 B ブロック		日 時 平成 24 年 2 月 27 日 会 場 畑寺福祉センター 内 容 講演会 「変わる家族と介護」－地域支援を考える－ 参 加 者 105 名	
第4 ブロック		日 時 平成 24 年 2 月 6 日 会 場 市総合福祉センター 内 容 事業説明 「地域福祉サービス事業について」 パネルディスカッション 「地域福祉サービス事業の現状と課題について」 参 加 者 94 名	
第5 ブロック		日 時 平成 24 年 2 月 17 日 会 場 味生公民館 内 容 講演会 「顔の見える地区づくり」 参 加 者 108 名	

ブロック研修会	第6 ブロック	日 時 平成 24 年 2 月 16 日 会 場 観光港ターミナル 内 容 講演① 「女川町災害ボランティアセンターでの活動報告等 について」 講演② 「福島県南相馬市での精神保健福祉活動について」 参 加 者 104 名
	第7 ブロック	日 時 平成 24 年 2 月 18 日 会 場 北条社会福祉センター 内 容 報告事項 「松山市地区社会福祉協議会連絡会について」 講演会 「顔の見える地区づくり」 参 加 者 107 名
	第8 ブロック	日 時 平成 23 年 10 月 25 日 会 場 北条社会福祉センター 内 容 シンポジウム 「サロンのちから再発見」 (松山市・今治市合同サロン研修会) 参 加 者 98 名

3 ボランティア活動支援事業

(1) ボランティアセンター運営事業

ボランティアの育成援助、コーディネート機能の充実、ボランティア団体・関係機関との連携・協働に努め、ボランティア活動の振興・拡大を図った。

① 運 営

ア. 諸会議等の開催

運営委員会	開 催 日	出席者数	協議事項
第 1 回	平成 23 年 6 月 16 日	6 名	・平成 23 年度事業計画等
第 2 回	平成 24 年 3 月 14 日	7 名	・平成 23 年度事業報告 ・平成 24 年度事業計画、新規事業

イ. 松山市ボランティア連絡協議会への運営協力等

ボランティアグループ相互の連携と協働及び情報交換等を図る松山市ボランティア連絡協議会への運営協力を行うとともに、補助金（1,260,000 円）を交付し、ボランティア活動の推進に寄与した。

② 情報収集・提供

ア. 「おせったい通信」の発行（12 回）

イ. 携帯電話ボランティア情報システム（ボランティアフォン）による情報提供

ウ. ボランティア活動の啓発及び事業協力

エ. 公的機関等のバリアフリー情報をリーフレット及びウェブサイト(PC 版・携帯版)で提供

オ. バリアフリーマップ改訂版の作成・配布

カ. 民間助成事業の情報収集・提供

③ ボランティアの育成

ア. ボランティアセミナー

ボランティア活動に関心のある方やこれから活動を始めようとする方々がスムーズに第一歩を踏み出せるきっかけづくり、及び新たな活動の展開を求めているボランティア活動の実践者が幅広く学べる多様な学習の機会を提供することにより、ボランティア活動の充実を図った。

講座名・講師	開催日	受講人数
傾聴ボランティア養成講座 講師：武井 義定 氏（臨床心理士）	平成 23 年 7 月 9 日 7 月 23 日 7 月 30 日 9 月 10 日	43 名
民間助成金活用等相談会（2 日間） 対応者：ボランティアセンター職員	平成 24 年 3 月 16 日 3 月 17 日	8 団体

④ ボランティア活動ガイダンス

ボランティアを必要とする側（各種団体）とボランティアとして活動を希望する側（学生・一般市民）とをコーディネートする機会として、就職ガイダンス方式による情報提供の場を設け、ボランティア活動の拡大を図った。

項 目	内 容 等
実 施 日	平成 23 年 6 月 25 日 12:30～15:00
会 場	総合福祉センター 1 階 大会議室・ロビー
参加団体	47 団体（15 福祉施設、団体・ボランティアグループ 32 団体）
参 加 者	231 名

⑤ 地域ボランティア活動推進出前講座

地域の拠点となる地区社会福祉協議会・地区民生児童委員協議会等の福祉関係団体を対象に、出前方式によるボランティア講座を実施し、地域におけるボランティア活動への理解・普及を図るとともに、地域住民が安心・安全に暮らせるまちづくりを目指し、ボランティア活動の拡充に努めた。

地区・団体名	開催日	開催場所	講座内容	人数
市高齢クラブ連合会	平成 23 年 10 月 13 日	市総合福祉センター	東日本大震災復興支援活動報告	100 名
余土小学校 P T A	平成 23 年 10 月 29 日	余土小学校	手話体験	30 名
県土地家屋調査士会	平成 23 年 12 月 17 日	久枝公民館	女川町災害ボランティアセンターでの活動報告	50 名
高浜地区社協	平成 24 年 1 月 25 日	高浜公民館	福祉レクリエーション体験	30 名
堀江地区社協	平成 24 年 1 月 28 日	権現温泉センター	福祉レクリエーション体験	40 名
地区社連第 6 ブロック研修会	平成 24 年 2 月 16 日	松山観光港	女川町災害ボランティアセンターでの活動報告	100 名
市ボランティア連絡協議会	平成 24 年 2 月 26 日	市総合福祉センター	人権（一人芝居）	100 名
北条地区民生・児童委員協議会	平成 24 年 3 月 14 日	北条コミュニティセンター	福祉レクリエーション体験	20 名
三津浜地区社協	平成 24 年 3 月 17 日	市地域交流センター	女川町災害ボランティアセンターでの活動報告	30 名
桑原地区まちづくり協議会	平成 24 年 3 月 24 日	桑原公民館	車いすでのまち歩き、座談会	20 名

⑥ ボランティアコーディネート事業

ボランティア活動に関する相談・連絡調整・登録を行い、ボランティア活動の推進を図った。

ア. 活動状況

電話・来所相談	団体登録	新規個人登録
2,230 件	(新規) 42 団体 (廃止) 25 団体	336 名

イ. 登録数 (H24. 3. 31 現在)

団体 (A)	団体 (B)	小計	個人	合計
387 団体	35 団体	422 団体		422 団体
22,636 名	10,554 名	33,190 名	1,659 名	34,849 名

団体 (A) はボランティア活動を行うために集まったグループ

団体 (B) は活動の一つとしてボランティアを行うグループ

⑦ 福祉体験学習事業

市内の小・中学校及び高等学校の児童・生徒や団体等を対象に、ボランティア活動に関する学習の機会を提供することによって、活動の推進及び福祉観の醸成を図った。

ア. 内 容 ボランティア活動に関する体験学習、技術学習、フィールドワーク、障がい者との交流学習等 (講師紹介、備品貸出のみも含む。)

イ. 実 績

項 目	件 数	参加者数
小 学 校	延 67 件	延 7,694 名
中 学 校	延 14 件	延 1,219 名
そ の 他	延 20 件	延 727 名
計	延 101 件	延 9,640 名

⑧ ボランティア交流サロン事業

ボランティア活動に関心を寄せる市民が気軽に集い、参加者同士で学び合いのできる場づくりを促進し、ボランティア (実行委員) とセンター職員が協働で企画・運営等を行うことにより、センター機能の一層の活性化及び強化を図った。

ア. 実行委員会

	開催日	出席者数	協議内容
第 1 回	平成 23 年 10 月 14 日	4 名	「東日本大震災」「復興」をテーマに、松山市でできる復興支援活動についての企画、運営
第 2 回	平成 23 年 10 月 21 日	4 名	
第 3 回	平成 23 年 10 月 28 日	4 名	

イ. 企画・実施内容等

企 画	実施期間	備考
ポスタープロジェクト「復興の狼煙」展示 被災地の学校支援ベルマーク収集箱の設置	平成 23 年 8 月 30 日～	実施回数 延 13 回 参加者数 延 137 名
若草福祉まつりでの女川町の物産品販売	平成 23 年 11 月 19 日・20 日	
“みかん”を贈ろう！我ら女川町応援団	平成 23 年 12 月 2 日	
被災地での体験を聞く！！	平成 23 年 11 月 9 日	

⑨ 傾聴ボランティアフォローアップ講座

ボランティアセンターが過去に開催した「傾聴ボランティア養成講座」受講生を対象に、現在の活動状況の情報交換を行い、傾聴についての更なるスキルアップを図った。

講 師	武井 義定 氏（臨床心理士・学校法人勝山学園 勝山幼稚園 園長）
日 時	①平成 23 年 10 月 8 日 ②平成 23 年 10 月 22 日
会 場	市総合福祉センター 5 階 中会議室
参加者	38 名

4 共同募金配分金事業

（1）在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業

65 歳以上の在宅ねたきり高齢者及び認知症高齢者 333 名に対し見舞金（1 人 3,000 円）を支給することにより、ねたきりの高齢者等への激励とともに、介護者への相談・支援や実態把握を行った。

（2）地域福祉活動支援事業

市社協が所有するマイクロバスを無償で貸出し、市社協や地区社協事業に活用することにより、地域福祉活動の拡大を図った。

利用団体	件 数	利用者数
サロン（地域交流サロン含む）	152 件	2,806 名
地区社協・民協	54 件	1,174 名
そ の 他	5 件	104 名
合 計	211 件	4,084 名

（3）福祉センターまつり開催事業

総合福祉センター及びハーモニープラザを活動拠点とする各種団体が協働し、「若草福祉まつり 2011」の開催を通じ、福祉活動への理解、参加者相互の交流、ボランティア活動の拡大とともに、各施設間の相互利用の促進を図った。

総合福祉センター管理・運営事業（P-22）に掲載

（4）傾聴スキルアップ講座事業

地区社協関係者を対象に、在宅訪問等で傾聴活動を行うための技術を提供することによって、在宅福祉サービスの充実及び地域におけるケアキーパーソンの発掘・養成を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 24 年 1 月 28 日・2 月 25 日・3 月 3 日
会 場	市総合福祉センター 1 階 大会議室
講 師	臨床心理士 武井 義定 氏
修 了 者	30 名

（5）古武術式カラダにやさしい介護術研修会開催事業

古武術の考え方を応用することで、筋力に頼らず身体の使い方で負担を軽くするなど、カラダを痛めないための介護技術の普及を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 23 年 10 月 29 日（福祉施設従事者・一般市民（各 1 講座））
会 場	市総合福祉センター 1 階大会議室
講 師	岡田 慎一郎 氏（理学療法士、介護支援専門員、介護福祉士）
参 加 者	61 名

（6）地域交流サロン助成事業

子育て中の保護者や障がい者、地域のボランティア等が自主的に立上げた地域交流サロン（38 サロン）に対し助成（年間 1 サロン 15 回を限度とし 1 回の開催につき 3,000 円、新規開設時に限り 20,000 円）を行い、参加者相互の支え合いを助長することで不安・悩みの解消や子育てを支援するとともに、住み慣れた地域の中で安心して楽しく暮らしていけるよう地域福祉の増進を図った。

No	サロン名	開催地区	登録者数	実施回数	延利用者数	平均利用者数
1	二神にこにこくらぶ	中島	29 名	11 回	280 名	25.5 名
2	サロン南斎院	味生	35 名	12 回	241 名	20.1 名
3	津田イキイキサロン	味生	25 名	15 回	212 名	14.1 名
4	サロン清住	味生	26 名	163 回	3,692 名	22.7 名
5	なでしこ	味生	21 名	15 回	237 名	15.8 名
6	なかよしクラブ	堀江	15 名	21 回	357 名	17.0 名
7	天山交差点	味酒	17 名	12 回	120 名	10.0 名
8	稗の会	粟井	46 名	13 回	337 名	25.9 名
9	佐古いきいき交流サロン	生石	15 名	24 回	336 名	14.0 名
10	すこやかサロン	生石	17 名	15 回	247 名	16.5 名
11	北本町サロン	北条	24 名	15 回	222 名	14.8 名
12	くにつチャイルドクラブ	正岡	34 名	13 回	236 名	18.2 名
13	どんぐり倶楽部・清水	清水	33 名	19 回	433 名	22.8 名
14	A・B クラブ	粟井	15 名	12 回	180 名	15.0 名
15	手話で話そう会	伊台	62 名	25 回	1,550 名	62.0 名
16	サロン大町	北条	35 名	17 回	290 名	17.1 名
17	垣生交流サロン	垣生	26 名	15 回	366 名	24.4 名
18	ナデシコ会	浅海	24 名	12 回	288 名	24.0 名
19	そよ風	潮見	23 名	15 回	159 名	10.6 名
20	サロン別府	味生	22 名	13 回	238 名	18.3 名
21	七曲りいろいろの場	久枝	18 名	15 回	163 名	10.9 名
22	T. O スマイルサロン	生石	16 名	19 回	242 名	12.7 名
23	遊学塾	雄郡	39 名	14 回	226 名	16.1 名
24	子育てサロンたちばな	雄郡	15 名	12 回	322 名	26.8 名

25	子育てサロンどいだ	雄郡	16 名	12 回	638 名	53.2 名
26	子育てサロンゆうぐん	雄郡	26 名	12 回	547 名	45.6 名
27	どんぐりの会	小野	20 名	17 回	297 名	17.5 名
28	うぐいすサロン	高浜	15 名	15 回	142 名	9.5 名
29	丸ちゃん班	味生	29 名	15 回	230 名	15.3 名
30	金曜サロン	粟井	15 名	12 回	152 名	12.7 名
31	余土子育てサロン	余土	47 名	12 回	347 名	28.9 名
32	Angelic☆Kids	石井東	38 名	15 回	277 名	18.5 名
33	ペチャくちやサロン In 白山会	石井東	38 名	12 回	346 名	28.8 名
34	山田かかしの会	小野	17 名	15 回	211 名	14.1 名
35	子育てサロンぶち Tea 会	生石	22 名	16 回	172 名	10.8 名
36	星ぐるま	石井東	45 名	13 回	587 名	45.2 名
37	伊台の実家	伊台	15 名	15 回	225 名	15.0 名
38	みどり会	宮前	22 名	15 回	330 名	22.0 名
合 計			997 名	713 回	15,475 名	21.7 名

(7) フェイストレーニング講座事業

年齢とともに老化した顔の筋肉を訓練して豊かな表情作りを目指すフェイストレーニングを通じ、地域の活動や家庭、介護現場等でのコミュニケーションの技術や知識の提供を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	第1回 平成23年12月7日・21日 第2回 平成24年1月14日・28日
会 場	市総合福祉センター 5階中会議室
講 師	藤崎 朱美 氏 (表情筋トレーニング協会 会長)
受 講 者	47 名

(8) 共同募金地区社協配分事業

共同募金の配分金を活用し、地区社協の福祉事業を支援することによって地域福祉の推進を図った。

助成地区	助成額
40 地区社協	33,026,329 円

(9) 福祉団体助成事業

福祉関係団体が実施する事業に対し助成（1団体30,000円を限度）を行うことにより、団体活動の活性化を図った。

助成団体	助成額
松山市障害者団体連絡協議会等 12 団体	360,000 円

(10) 地域福祉活動推進計画委員会運営事業

地域福祉活動推進委員会を開催し、第2期地域福祉活動推進計画（なもしプラン）の進行管理及び、地区社協が作成する活動計画の策定・実施方法等について調査・研究を行い、地域福祉活動の促進を図った。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 24 年 3 月 23 日
出 席 者	委員 7 名（地区社協会長・学識経験者等）
協議事項	(1) 第2期松山市社協地域福祉活動推進計画（なもしプラン）の進捗状況について (2) 地区社協地域福祉活動計画策定状況について

(11) 地区社協基盤整備事業

拠点整備等に取り組む地区社協に対し、調査研究費・管理運営費・施設等整備費の各助成を行い、地区社協活動の活性化と地域福祉活動の一層の推進を図った。

項 目	助 成 内 容
拠点整備調査研究事業助成 （1地区 150,000 円を限度）	○久米地区社会福祉協議会 研修内容 ・日時 平成 23 年 7 月 5 日 ・場所 川西地区自主防災会（香川県丸亀市） ・拠点立ち上げ経緯・拠点運営に係る運営費等の財源確保等 ・助成金 150,000 円
拠点運営助成 （開設後、3年間及び 年間 600,000 円を限度）	○石井東地区社会福祉協議会 ・助成金 58,021 円
拠点整備事業助成 （開設時 1地区 300,000 円 を限度）	○番町地区社会福祉協議会 ・助成金 300,000 円

(12) 広報啓発事業

広く市民に事業の紹介や講座等の参加者募集等を行い、市社協の広報啓発を図った。

啓発方法	内 容 等
ラジオ広報	「みんなの松山」 南海放送（土曜日 9:35～9:45） 年4回
広 報 紙	「社協だより」発行 生活情報紙への広告掲載 年4回

(13) ホームページ運営事業

ホームページの維持管理とともに、事業紹介や講座等の参加者募集など、タイムリーな情報を発信し、市社協の広報啓発を図った。

① アクセス数：平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

サイト名	アドレス	アクセス件数
松山市社会福祉協議会	http://www.matsuyama-wel.jp/	90,576 件
松山市ボランティアセンター	http://www.matsuyama-wel.jp/vc/	6,265 件
いきがい交流センターしみず	http://www.matsuyama-wel.jp/shimizu/	1,474 件
まつやまバリアフリーマップ 情報サイト	http://www.hecoman.com/	7,984 件

(14) 災害見舞金支給事業

不慮の災害による家屋の全焼、全壊の被災者及び死亡、行方不明者の遺族に見舞金を支給することにより、応急的な生活費の援助と福祉の増進に寄与した。

内 容	件 数	支 給 額
住宅火災等	21 件	420,000 円
死亡弔慰金	2 件	40,000 円
計	23 件	460,000 円

(15) 公用車両整備事業

廃棄基準に基づき、老朽化した原付バイクの買い換えを行い、事業利用者への訪問等、各種業務の円滑な推進を図った。

整備台数 2 台

(16) 懐かしの名画劇場開催事業

映画史を代表する作品や好評を博した作品を上映することにより、高齢者等の社会参加と生きがいづくりの促進及び文化振興に寄与した。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 23 年 11 月 27 日
会 場	市総合福祉センター 1 階大会議室
映画プログラム	小津安次郎の世界・彼岸花 (118 分)・麦秋 (125 分) 秋刀魚の味 (113 分)・東京物語 (136 分)
来場者数	延 980 名

(17) 安心カードみまもり支援事業

高齢者や障がい者等の要援護者を対象に、救急時や災害時に備えて緊急連絡先やかかりつけの病院等を記した安心カードを作成し、安心キット（プラスチック容器）に入れて冷蔵庫に保管することにより、緊急時に迅速かつ的確な情報提供と救命活動に寄与するとともに、要援護者の実態把握を通じて、潜在的・予防的ニーズの発見、孤立予防、みまもり支援体制の構築を図った。

登録者数	備 考
6,521 名	消防等安心キット活用事例 15 件

(18) キッズカレッジ～みんなの居場所づくり～事業

ひとり親家庭や共働き家庭等であって、夏休み及び冬休みの期間中、子どもだけで過ごす環境にある小学生を対象に、学習支援や異学年との交流、体験学習等を行うキッズカレッジを通じて、子どもの居場所づくりや保護者の不安・悩み解消の場づくりに努めた。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 23 年 7 月 25 日、8 月 1、8、16、22、29 日（夏休み 6 回） 平成 23 年 12 月 26 日、平成 24 年 1 月 5 日（冬休み 2 回）
時 間	9：00～17：00（8：00 から受入、18：00 まで預り）
参 加 者	児童 21 名、専任スタッフ 1 名、専門講師 10 名 ボランティアスタッフ 36 名
カリキュラム	交流会、夏休み・冬休みの宿題、陶芸、高齢・障がい者との交流、戦争体験講話、陶芸、手話、書き初め、市役所見学他

(19) 松山市社協創立 60 周年記念誌作成事業

設立 60 周年を機に本会の軌跡を記録として残し、過去の活動と今後の展望を検証することで、地域住民や地区社協、地区民協、ボランティア団体をはじめ行政や福祉関係機関・団体との更なる連携強化や新たな地域福祉活動の展開等、今後の社会福祉協議会活動の一層の推進を図ることを目的として作成した。

作成部数 A 4 判 150 部

(20) 東日本大震災復興・追悼事業（松山から想いを～東日本大震災、あの日を忘れない～）

東日本大震災発生後 1 年を機に、1,000 個のキャンドルへの灯火やメッセージ等を通じて、犠牲となった方への追悼や大震災への想いを再認識する機会として開催した。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 24 年 3 月 11 日
開催場所	市総合福祉センター 3 階庭園 外
参 加 者	一般市民、ボランティア、福祉関係者約 400 名
寄 付 金	123,708 円を女川・桜守りの会活動支援に寄付

5 福祉サービス利用援助事業

(1) 福祉サービス利用援助事業

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的・精神障がい者などを対象に、生活支援員及び専門員が関係機関と連携・協働し、福祉サービス利用の相談や手続代行、日常的な金銭管理等を行い、権利擁護及び生活の質の向上を図った。

平成 23 年度新規契約者数 20 件、契約終了者数 3 件

契約件数（H24. 3. 31 現在）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
件 数	12 件	19 件	53 件	7 件	91 件

6 まごころ銀行運営事業

(1) まごころ銀行運営事業

市民からの善意の金品を受付し、希望する指定先（福祉関係機関・団体等）及び社会福祉事業のために払い出しを行い、広く社会福祉の向上に寄与した。

① 預託・払出状況

種 別	預 託	払 出
金 銭	82 件 14,113,817 円	165 件 14,618,367 円
	一般預託 1 件 1,165,450 円	一般預託（東日本大震災被災者見舞金）
	指定預託 81 件 12,948,367 円	84 件 1,670,000 円
	〔 社協 53 件 11,067,600 円〕	指定預託 81 件 12,948,367 円
	〔 その他 28 件 1,880,767 円〕	〔 社協 53 件 11,067,600 円〕
物 品	9 件	9 件

② 金品払出状況（指定預託払出金 12,948,367 円及び物品の内訳）

払 出 先	金 銭	物 品	備 考
地区社協・地区民協	1,647,982 円		余土地区社協外
高齢者福祉	155,155 円	車椅子	ていれぎ荘外
児童福祉	0 円	ケキ、りんご、みかん等	親和園、愛媛慈恵会外
障がい（児）者福祉	77,630 円		多機能型事業所ひかり、ポッポ苑
ボランティア・NPO	0 円	シャンプー・リンス等	NPO 法人 ラ・ファミリエ
市社協	11,067,600 円	活字文書読上げ装置	交通災害遺児外
合 計	12,948,367 円		

③ 交通災害遺児見舞金

18 歳以下の交通・災害遺児 44 名に対し、寄付者の意思に基づき見舞金（1 人 15,000 円）を支給することによって、遺児への激励と実態把握を行った。

7 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、資金貸付によって安定した生活を送ることができるよう愛媛県社協への申請の進達と必要な援助指導を行った。

貸 付 内 容	件 数
①総合支援資金	
・生活支援費	2 件
・住宅入居費（敷金・礼金）	5 件
・一時生活再建費	0 件
②福祉資金	
・福祉費	7 件
・緊急小口資金	26 件
③教育支援資金	3 件
合 計	43 件

貸付内容	件数
①不動産担保型生活資金	
・一般世帯向け	1件
・要保護世帯向け	1件
合 計	2件

(2) 臨時特例つなぎ資金貸付事業

離職者を支援するための公的給付制度又は公的貸付制度を申請している住居のない離職者が給付金又は貸付金の交付を受けるまでの間、安定した生活を送ることができるよう当面の生活費の貸付について愛媛県社協への申請の進達と必要な援助指導を行った。

貸付内容	件数
臨時特例つなぎ資金	5件

(3) 生活福祉資金相談体制整備事業

平成 21 年 10 月の制度改正に伴う相談・貸付件数の大幅な伸びに対応するため、愛媛県社協からの委託金を活用し、相談受付窓口を 2ヶ所、相談員の常時 2 名体制を維持し、相談者の待ち時間の短縮や相談支援業務の充実強化を図った。

8 障害者総合相談窓口事業

(1) 障害者総合相談窓口事業

身体・知的・精神障がい者及び障がい児の保護者又は介護者からの相談に応じるための総合相談窓口を設置し、障がい者等が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう問題解決に向けた支援・助言を行った。

① 相談件数（相談方法分類）

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
延相談件数	977 件	649 件	231 件	2,919 件	1,300 件	73 件	4,992 件	109 件	11,250 件

※その他は障害手帳を保持していない相談者

② 支援内容

	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
延相談件数	3,483 件 (3,414)	715 件 (708)	1,112 件 (1,067)	1,953 件 (1,939)	335 件 (334)	362 件 (349)	506 件 (482)

	生活技術	就 労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計
延相談件数	2,103 件 (2,051)	311 件 (296)	84 件 (81)	111 件 (107)	402 件 (393)	11,477 件 (11,221)

※（ ）内は解決に至った件数。

③ 発達障がい者就労支援研修

松山市民を対象に、発達障がい者支援（就労）と理解のための啓発を目的として研修会を開催した。

項 目	内 容 等
開 催 日	平成 24 年 3 月 24 日
出 席 者	180 名（一般、福祉関係者等）
内 容	発達障がい支援講演会 講演 ①「発達障がいのある人の支援制度について」 講師 長野県健康長寿課 発達障害支援員 日詰 正文 氏 講演 ②「福祉と教育をつなぐ WE コラボ！しませんか？」 講師 東京学芸大学 特別支援科学講座 教授 加瀬 進 氏

【公益事業会計】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業

松山市における福祉活動の拠点施設として、福祉関係者等へ会議室等の貸出や施設の維持管理を行なうとともに、ボランティアグループや福祉関係団体・行政等との協働により福祉人材の育成、情報の収集・発信、高齢者や障がい者等の社会参加の促進を図った。

① 利用状況

延利用団体数	延利用人数	備 考
8,293 団体	172,799 名	施設見学 8 団体 165 名 有料利用 15 件 1,590 名

② 社会福祉啓発事業（福祉講習会）の開催

行 事 名	開 催 日	参加人数	内 容
ボランティア活動推進講演会	平成 23 年 6 月 10 日	91 名	演題 『なぎさの福祉コミュニティと地域福祉～施設の社会化の新しい展開をめぐって～』 講師 岡本榮一 氏（大阪ボランティア協会 ボランティアリズム研究所 所長）
地域福祉活動推進講演会	平成 24 年 2 月 23 日	204 名	演題 『高齢者の孤立を防ぐために』 講師 市川 一宏 氏 ルーテル学院大学学長
手話に関する講演会	平成 24 年 3 月 18 日	39 名	テーマ 「手話の魅力」 講師 NHK 手話キャスター 那須 英彰 氏

③ 福祉センターまつり開催事業

総合福祉センター及びハーモニープラザを活動拠点とする各種団体が協働し、「若草福祉まつり 2011」の開催を通じ、福祉活動への理解、参加者相互の交流、ボランティア活動の拡大とともに、各施設間の相互利用の促進を図った。

開 催 日 平成 23 年 11 月 19 日・20 日

来館者数 延 4,000 名

内 容

項 目	1 日 目	2 日 目
総合福祉センター 大会議室	○ボランティア団体発表会 ○風船工作教室 ○餅まき	○仮面ライダーフォーゼショー お手持ちカメラによる撮影会(2回)
ハーモニープラザ 体育館	○子ども映画祭 「アンパンマン」 「ミッキーマウス」	○あそび横丁昔あそびコーナー ・マジックステージ ・木のおもちゃ移動児童館コーナー ○香りの空間音の広場
その他の会場	○障がい者団体各種バザー ○共同作業所作品販売 ○余剰品販売コーナー ○各種食事コーナー ○障がい者デイ作品展 ○作業所喫茶コーナー ○障がい者スポーツ紹介コーナー ○お茶席コーナー ○マッサージコーナー ○サロン事業作品展示 ○押し花体験コーナー ○七宝焼き ○ペタンク体験コーナー ○車いす体験コーナー ○子どもの遊びひろば ○各種ボランティア体験コーナー ○スタンプラリー ○昔あそびコーナー ○手すき和紙体験コーナー ○フラワーセラピー体験 ○レクリエーション遊び 等	
広告の募集	協力団体・企業 74 団体 広告収入 370,000 円	

④ 福祉ライブラリーの整備・貸出

福祉関係の書籍等を整備し、高齢者や障がい者及び福祉関係者等への貸出しを行うことにより、福祉情報の提供、人材育成、地域福祉活動の推進を図った。

貸出件数

内 容	書 籍	点字書籍	ビデオ	カセット	DVD	計
件 数	91 件	32 件	356 件	31 件	45 件	555 件

⑤ ロビー展等

総合福祉センターロビー等の有効活用により、福祉に対する理解とセンターの活性化を図った。

実 施 内 容		実 施 期 間 等
(1) ロビー展等		
ア. わかくさふれあい市		平成 23 年 4 月 6 日～毎週水曜日(50 回開催)
イ. 日本赤十字社献血車による献血		平成 23 年 5 月 12 日、12 月 21 日
ウ. いきがい交流センターしみず写真展		平成 23 年 5 月 20 日～ 6 月 6 日
エ. ラボ国際交流ボランティアリーダー写真展		平成 23 年 7 月 3 日～ 7 月 23 日
オ. 東日本大震災パネル展		平成 23 年 8 月 29 日～
カ. ラボ国際交流ボランティアリーダー写真展		平成 23 年 9 月 4 日～10 月 2 日
キ. サロン作品展示		平成 23 年 11 月 21 日～12 月 9 日
ク. 被災地応援メッセージ展示		平成 24 年 3 月 13 日～
(2) 募金箱の設置		
ア. 東日本大震災に伴う義援金募金箱設置		平成 23 年 4 月 1 日～(平成 23 年 3 月 13 日設置)
イ. 日赤社資募集募金箱設置		平成 23 年 4 月 1 日～
ウ. 台風 12 号被害義援金募金箱設置		平成 23 年 9 月 21 日～10 月 27 日
エ. 共同募金募金箱設置		平成 23 年 10 月 1 日～12 月 31 日
(3) ご意見箱の常設(1 階・4 階・5 階)		平成 23 年 4 月 1 日～(平成 19 年 8 月 1 日設置)
(4) 東日本大震災支援ベルマーク収集箱設置		平成 23 年 9 月 1 日～

(2) 地域福祉支援システム管理運営事業

総合福祉センターを拠点とした各種福祉活動を支援するため、福祉情報を一元管理し、より有効なサービスの提供を目的として構築したシステムの維持・管理を行い、各種事業の円滑な実施を図った。

設置端末 45 台

(3) 番町福祉センター管理事業

高齢者や福祉関係者等の活動の場として会場を提供し、社会参加や福祉活動の推進を図った。

利用状況

延利用団体数	延利用者数
419 団体	4,558 名

(4) 北条社会福祉センター管理運営事業

北条地域の福祉活動の拠点施設として、高齢者等の福祉増進や福祉活動の推進を図った。

利用状況

延利用団体数	延利用者数
204 団体	4,065 名

2 高齢者等いきいき支援事業

(1) 愛の一声訪問事業

77 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、原則として週 2 回乳酸菌飲料を訪問配付し、安否の確認や不慮の事故防止及び社会的孤立の解消を図った。

延利用者数	延訪問回数
29,622 名	245,140 回

(2) 在宅ねたきり高齢者理容サービス事業

在宅ねたきり高齢者を対象に、利用券方式により年 4 回の出張理容サービスを実施し、保健衛生の向上と介護者の負担の軽減を図った。

理容券交付者数	延利用者数
59 名	157 名

(3) 配食サービス事業

在宅で食事の調理等が困難な高齢者や障がい者の世帯を対象に、1 日 1 食（昼又は夕）の食事サービスを提供し、利用者の安否確認及び心身の負担軽減を行うとともに、栄養バランスのとれた食事を提供することにより、高齢者や障がい者の健康増進及び福祉向上を図った。

延利用者数	延配食数
7,950 名	178,246 食

(4) 福祉機器貸出事業

在宅で介護を受けている 64 歳以下の身体障害者手帳所持者を対象に、レンタル方式により福祉機器を貸出し、介護者の負担と費用負担の軽減及び要援護者の自立向上を図った。

電動ベッド	車いす	床ずれ予防マット
14 件	6 件	16 件

(5) 松山健康づくり体操教室事業

高齢者を対象に体操教室を実施することにより、運動器の機能向上や介護予防及び日常生活における安定した生活の持続を図った。

実施場所	実施回数	延参加者数
市総合福祉センター	80 回	3,075 名

(6) 離島介護サービス対策事業

公共交通機関の利用が不便な釣島地区と安居島地区に在住している要介護者等に、介護サービス受給に伴う環境整備やボランティア活動の支援を行い、健康管理を含め在宅福祉の推進を図った。

- ① 訪問看護・ケアプラン作成・介護認定の申請代行等諸サービス受給に伴う相談
- ② 介護予防レクリエーション
- ③ 健康相談・介護相談・栄養相談
- ④ 健康体操

開催場所	回 数	延利用者数	平均利用者数
釣 島	6 回	90 名	15.0 名
安居島	7 回	52 名	7.4 名

(7) まつやまシニアカレッジ事業

松山市在住の 60 歳以上の方を対象に、高齢者向けの大学講義カリキュラムを組み、キャンパスライフの体験と知識習得意欲の向上を図った。

項 目	内 容 等
開催期間	平成 23 年 5 月～12 月 (10 回開催) 平成 23 年 10 月 29 日 大学祭 (余剰品バザーコーナー参加) 平成 24 年 2 月 24 日 社会施設見学 (県歴史文化博物館などを視察)
会場・共催	聖カタリナ大学
参 加 者	47 名

3 ふれあい・いきいきサロン運営事業

(1) ふれあい・いきいきサロン運営事業

地域で生活している高齢者等と地域のボランティア等が気軽に集まり、サロン活動を通して生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げるとともに、地域の介護予防の拠点として心身機能の維持向上を図った。

① 登録者状況

利用者登録数 (60 歳以上)	活動援助員登録数	講師登録数
7,973 名	1,811 名	747 名

② 活動状況

拠点数	開催回数	延利用者数	平均利用者数
246 拠点	6,659 回	103,621 名	15.6 名

③ サロン経理調査 平成 23 年 4 月 20 日 ～ 6 月 30 日 まで実施

④ 研修会等の開催

ア) 活動援助員研修会

開催日 / 会場	内 容	参加者数
平成 24 年 3 月 1 日 市総合福祉センター 1 階 大会議室	演題：今日からできる認知症予防 講師：宇良 千秋 氏 東京都健康長寿医療センター研究員	360 名

イ) サロン講師指導体験会

	テーマ / 講師	松山会場	北条会場	中島会場
第1回	①いきいき健康体操 講師：山口 真由美 氏	6月23日 ①35名 ②21名	6月13日 ①61名 ②36名	—
	②苔玉作り 講師：渡部 ちえみ 氏	6月27日 ②26名		
第2回	③手作り木工細工 講師：原 修子 氏	—	—	7月7日 ③19名
第3回	④手描き風ステンシル 講師：沖 辰恵 氏	7月20日 ④18名 7月21日 ④23名	7月15日 ④27名	—
第4回	⑤太極拳 講師：加納 賢 氏	9月22日 ⑤26名 ⑥26名	9月13日 ①13名 ②27名	—
	⑥手作り木工細工 講師：原 修子 氏	9月21日 ⑥14名		
第5回	⑦フラワーボトル 講師：中村 美恵子 氏	10月24日 ⑦27名 10月27日 ⑧27名	10月17日 ⑦34名 ⑧27名	—
	⑧レク・ニュースポーツ、レク展示 講師：久保田 加寿美 氏	10月20日 ⑧23名		
第6回	⑨手作りティータイム 講師：鎌田 淳子 氏	11月29日 ⑨20名	11月30日 ⑨13名	—
第7回	⑩音楽（サックス・フルート） 講師：秋川 啓 氏	12月14日 ⑩33名 ⑪33名	12月9日 ⑩24名 ⑪24名	—
	⑪タオル体操・リンパ、つぼマッサージ 講師：玉井 弘文 氏			
追加	②苔玉作り 講師：渡部 ちえみ 氏	6月23日 ②24名	—	—

総回数 27 回 延べ参加者 705 人

松山会場 — 市総合福祉センター

北条会場 — 北条社会福祉センター・北条コミュニティーセンター

中島会場 — 中島ふれあいセンター

⑤ 各サロン（地区）諸会議等の開催

ア) 諸会議等

No	項 目	件数等
1	サロン代表者会	5 地区 / 25 回
2	活動援助員研修会	9 地区 / 12 回
3	サロン交流会	14 地区 / 28 回
4	他団体との交流会	13 団体 / 36 回

イ) 出前健康講座

松山市保健所と協働し、健康についての講座を実施。

No	テーマ	サロン数 / 参加者
1	転ばないための体づくり	15 サロン / 330 名
2	シルバー世代の健康づくり	14 サロン / 288 名
3	自分の歯でかみ、おいしく食べよう	7 サロン / 184 名
計		36 サロン / 802 名

⑥ ふれあい・いきいきサロン運営事業調査研究会

No	開催日 / 会場	内容
1	平成 23 年 10 月 12 日 市総合福祉センター 1 階 会議室	①健康増進プロジェクトの結果報告 ・サロン調査研究報告書 松山市ふれあい・いきいきサロンへの参加者の 身体活動について ～ 身体活動量を用いて ～ 報告：丸山 裕司氏 (聖カタリナ大学人間健康福祉学部) ②今後の計画について ・サロン運営者関係者へのアンケートについて (内容等の検討)
2	平成 24 年 2 月 29 日 市総合福祉センター 1 階 会議室	①サロン運営者アンケートの結果報告及び意見交換

⑦ サロン農園事業

地元農家の協力を得て、遊休農地等を活用しながら農園活動を実施（1 サロン 80,000 円を限度に助成）し、男性利用者等新たな参加者の拡大を図った。

No	地区	サロン名
1	味 生	三本柳楽しもう会
2	興居島	泊ヘルスサロン
3	和 気	幸風苑いきいきサロン
4	堀 江	サロン北谷
5	伊 台	さくらうすずみサロン
6	浮 穴	さくら会
7	小 野	ふれあいサロン小野
8	石井東	いあい苑サロン
9	久 谷	久谷中組サロン
10	北 条	ニュー三穂町
11	河 野	サロン仲談
12	中 島	むつきサロン

⑧ 広報啓発

ア) 「松山市ふれあい・いきいきサロン通信」の発行（年12回）

・月1回発行 サロン関係者等（各地区社協・各サロン等）送付（月：400部）

イ) ふれあい・いきいきサロン実践事例集 WEB サイト版の運営

・毎月の「サロン通信」や全国版「サロン要綱・要領集」等の掲載。また、各サロンの状況等タイムリーな情報を発信。

ウ) 広報啓発用リーフレット作成

・個人配布用 A5冊子・・・10,000部

・町内等回覧用 A4・・・10,000部

⑨ 活動機材の貸出

貸出機材	貸出件数
レクリエーション用具等	254件
プロジェクター・DVD等	116件

⑩ その他

項 目	件数等
[サロン作品展] テーマ・・・伝えたい想い～愛～ 期間 平成23年11月21日～12月9日 会場 市総合福祉センター 1階 ロビー *「若草福祉まつり2011」に展示（11月19日・20日）	応募：37サロン 作品集：450冊作成
視察・・・秋田市民協、尼崎市社協等	14件
実習・・・河原医療大学校、松山大学等	10名
平成23年度まつやま食育フェスタへ出店 日時 平成24年3月25日 10時～16時 会場 ひめぎんホール	サロン農園紹介

4 いきがい交流センターしみず管理運営事業

(1) いきがい交流センターしみず管理運営事業

小学校の余裕教室等を活用し、清水地区を中心とした住民の主体的運営による福祉・文化・レクリエーション等の学習及び生きがいデイサービス「友遊しみず」等を実施し、福祉・学習コミュニティの形成と学社融合に寄与した。

平成23年度利用者数 11,229名

① 生きがいデイサービス事業

対 象 介護保険対象外のおおむね65歳以上の方

日 時 毎週月・木曜日 10:00～15:00（祝祭日、年末年始を除く）

ア. 実施状況

回 数	延利用者数	平均利用者数
90回	1,479名	16.4名

イ. 交流状況（清水小児童・清水小教職員・他校生徒・大学生 等）

件 数	交流者数
33件	2,518名

② 講座・ふれあい教室

ア. シニアライフ講座【松山市社協 主催】 延べ受講者数 179 名

対 象 市内在住の 60 歳以上の方で全 7 講座受講できる方

日 程	講 師 ・ 内 容
5 月 31 日	「認知症にならないコツ・脳卒中で倒れないコツ」
6 月 7 日	「心と体のリフレッシュ～伊予山の辺の道を歩こう！～」
6 月 14 日	「認知症の人との付き合い方」
6 月 21 日	「介護保険と高齢者の福祉サービスについて」
6 月 28 日	「成年後見制度について」
7 月 5 日	「高齢者施設と介護サービスについて」
7 月 12 日	「財産管理と遺言～心の記録ノートをつくろう～」

イ. シニアサポート講座【松山市社協 主催】 延べ受講者数 182 名

対 象 高齢者を支える家族や地域住民

日 程	講 師 ・ 内 容
9 月 20 日	「成年後見制度について」
9 月 27 日	「介護保険と高齢者の福祉サービスについて」
10 月 4 日	「高齢者施設と介護サービスについて」
10 月 11 日	「認知症の人との付き合い方～認知症の介護～」
10 月 18 日	「心と体のリフレッシュ～伊予山の辺の道を歩こう！～」
10 月 25 日	「財産管理と遺言」
11 月 2 日	「家族のうつ～介護をする家族のメンタルヘルス～」
11 月 8 日	「納得できる逝き方と看取り」

ウ. ふれあい教室【清水地区社協主催 自主事業】

講 座 名	実施回数	延受講者数
ふれあい教室（9 教室） 民謡・コーラス・茶道・絵手紙 書道・フラダンス・英会話 カラオケ・太極拳	269 回	3,614 名

③ その他

清水地区社協関係者の利用やしみず祭の開催、清水小学校児童との日常的な交流及び学生等によるボランティア活動（しみずサポートボランティア）を促進し、清水地区の異世代交流を図った

項 目	件 数	利用者数
清水地区社協業務・しみず祭等	—	1,600 名
視察・実習等	20 件	255 名
しみずサポートボランティアの活動	146 件	234 名
昼休みの児童との交流 （清水小学校の児童）	—	228 名

5 社会福祉従事者研修事業

(1) 介護員養成研修事業（2級課程）

福祉サービスの基本視点の理解や業務内容、サービス利用者に関する知識等の基本研修を実施し、訪問介護員の養成を行った。

回数	受講者数	修了者数	講義	実技講習	現場実習
1回目	39名	39名	60時間	44時間	30時間
2回目	27名	27名			

(2) 移動支援従業者養成研修事業

視覚障がい者及び全身性障がい者の外出時において移動介護等に必要とされる知識・技術等の研修を実施し、移動支援従業者（ガイドヘルパー）の養成を行った。

研修内容	受講者	修了者	講義	演習
視覚障害者課程	25名	25名	4時間	9時間
全身性障害者課程	15名	15名	7時間	4時間

6 巡回入浴サービス事業

(1) 巡回入浴サービス事業（平成23年度終了）

歩行が困難で移送に耐えられない等の事情により、施設等への通所が困難な64歳以下の重度身体障がい者で、医師が入浴可能と認めた方を入浴車で訪問し、入浴サービスを提供し、障がい者の福祉向上及び介護者の負担軽減を図った。

実施回数	利用者数	登録者数
766回	8名	14名

7 要介護認定等訪問調査事業

(1) 要介護認定訪問調査事業

松山市及び他市町村等からの委託により、介護支援専門員が要介護認定を受けようとする被保険者を訪問面接し、心身の状況や置かれている環境等の調査を行うとともに、医師の意見書等の送付回収を行った。

調査内容	依頼件数	実施件数	完了件数
要介護認定訪問調査	27,436件	27,635件	26,253件
生活保護受給者身体状況訪問調査	289件	284件	284件
住所地特例認定訪問調査	708件 (56市町等)	672件	672件

※依頼・実施・完了件数の相違については、年度末申請分の調査が次年度実施となることから発生。

(2) 障害程度区分認定調査業務委託事業

障害程度区分の認定を受けようとする申請者に専門職員が訪問面接し、心身の状況や置かれている環境等の調査、申請者及び家族からサービス利用意向の聴取を行うとともに、障害程度区分の認定に必要な医師の意見書等の送付回収を行った。

調査内容	依頼件数	実施件数	完了件数
障害程度区分認定訪問調査	1,032 件	924 件	924 件

※依頼・実施・完了件数の相違については、年度末申請分の調査が次年度実施となることから発生。

8 法人成年後見事業

(1) 法人成年後見事業

障がい等によって判断能力が不十分な方を対象に、法的に権限が与えられた代理人（成年後見人等）として財産管理や身上監護を行い、権利擁護及び生活の質の向上を図った。

平成 23 年度新規受任者数 2 件、終了者数 2 件

受任件数（H24. 3. 31 現在）

	被後見人数				計
	市長	親族	本人	職権	
後 見	11 件	6 件	1 件	1 件	19 件
保 佐	—	—	1 件	—	1 件
補 助	—	—	—	—	—
合 計	11 件	6 件	2 件	1 件	20 件

(2) 市民後見推進事業

認知症高齢者や一人暮らしの高齢者の増加等により、成年後見制度の利用が増加することが予想されるため、市民後見検討委員会を開催し、松山市における市民後見制度の創設に関すること等の検討を行うとともに、市民後見人となれる人材の確保に向け、市民後見人養成講座を実施した。

① 松山市市民後見検討委員会の開催

松山市での市民後見制度を効果的に推進するため、本市における同制度のあり方や活用方法、市民後見人の養成等について総合的な検討を行った。

・検討委員 18 名（※松山家庭裁判所からはオブザーバーとして 2 名出席）

回 数	日時・場所	内 容
第 1 回	平成 23 年 10 月 18 日 13 : 30 ~ 15 : 30 番町福祉センター 5 階大会議室	(1) 説明事項 ①市民後見推進事業実施要綱（厚生労働省）について ②松山市市民後見検討委員会設置要綱について (2) 協議事項 ①委員長及び副委員長の選任について ②平成 23 年度松山市市民後見検討委員会の今後のスケジュールについて (3) 報告事項 ①成年後見関係事件の概要について ②松山市社協の法人成年後見事業の受任状況について
第 2 回	平成 23 年 11 月 29 日 13 : 30 ~ 15 : 30 番町福祉センター 5 階大会議室	(1) 報告事項 ①松山市における成年後見関係資料 ②市民後見に係る他市の取り組み状況 (2) 協議事項 ①松山市における市民後見制度について ②松山市市民後見に関する潜在的ニーズ等の実態調査について

第3回	平成24年1月31日 13:30～15:30 市総合福祉センター 5階中会議室	(1) 協議事項 ①高齢者等の潜在的ニーズの実態調査報告について ②松山市市民後見制度の創設について ③市民後見人養成講座について
第4回	平成24年2月28日 13:30～15:30 市総合福祉センター 5階中会議室	(1) 報告事項 松山市市民後見人養成講座について (2) 協議事項 松山市市民後見制度の創設について
第5回	平成24年3月26日 13:30～15:30 市総合福祉センター 5階中会議室	(1) 協議事項 松山市市民後見制度の創設について (2) その他 来年度の松山市市民後見検討委員会等について

② 松山市市民後見人養成講座（基礎編）

松山市内の成年後見事業の利用を促進するため、当面の活動として認知症高齢者及び知的・精神障がい者の生活支援や後見等の補助業務にあたる人材の養成を行った。

項 目	内 容 等
期 間	平成24年3月10日～3月31日の土曜日の4日間
場 所	ハーモニープラザ 3階 多目的室1
内 容	基調講演Ⅰ「成年後見制度について」他15講座
修了者	38名（受講者43名）

9 広報・啓発事業

(1) 福祉大会事業

多年にわたり福祉活動に功績のあった方々を表彰するとともに、関係者の相互理解と連携促進を図った。

項 目	内 容 等
名 称	平成23年度松山市福祉大会
日 時	平成23年9月2日 13:30～16:00
会 場	松山市民会館 大ホール
参 加 者	福祉関係者約1,650名
内 容	○ 表 彰 ○ 講 演（トーク&コンサート） 演題：音楽は魔法だ！ 心にしみる癒しのハーモニー 講師：う〜み（シンガーソングライター）

(2) ボランティア育成定期講座開催事業

福祉活動に興味を持つ市民に対し、福祉啓発の一環として各種福祉講座を開催し、福祉意識の高揚、障がい者への理解、ボランティア活動への参加促進を図った。

講座名	実施回数	修了者数
点 字	初級 (20 回) 中級 (20 回)	初級 14 名・中級 11 名
手 話 (午前)	入門 (20 回) 基礎 (20 回)	入門 20 名・基礎 13 名
手 話 (夜)	入門 (20 回) 基礎 (20 回)	入門 26 名・基礎 19 名
朗 読	初級 (12 回) 中級 (13 回)	初級 19 名・中級 18 名

10 社会福祉施設等支援事業

(1) 介護サービス事業者調査事業

介護サービス事業者の内、グループホーム等の地域密着型サービス事業者を訪問し、情報の提供や助言等を行い、サービスの質の確保と向上、高齢者虐待の防止、適正な介護報酬請求等の理解を促進し、効率的・効果的な介護サービスの提供及び質の向上を図った。

- ① グループホームの処遇についての調査（高齢者虐待防止、身体拘束ゼロに向けて）、訪問、運営推進会議への参加等

（対象施設）グループホーム 107 所（1 箇所休止中）・小規模多機能型居宅介護事業者 30 箇所・小規模特養施設 6 箇所、認知症対応型通所介護事業 22 箇所

延べ訪問回数 257 回

② テーマ別集団・研修の実施

研修名	開催日	参加人数	内 容
集団研修	平成 23 年 6 月 24 日	54 名	介護職員の為の新人職員研修
	平成 23 年 8 月 25 日	53 名	ケアプラン研修会
	平成 23 年 11 月 10 日	101 名	『介護の日』イベント～ひとりじゃないよ絆～
介護サービス事業者等地域ブロック(包括支援センター)別研修会・小規模多機能施設出前講座	平成 23 年 7 月 18 日～ 平成 24 年 3 月 19 日	240 名	1. 三津浜地区「フェイシャルセラピー」 2. 中島・三津浜地区「からだを整える」 3. 城北地区「からだを整える」 4. 城西・勝山地区「セルフマッサージ」 5. 桑原・道後地区「セルフマッサージ」 6. 北条地区「からだを整える」 7. 東・拓南地区「高齢者の金銭管理」 8. 三津浜地区「セルフマッサージ」 9. 西地区「災害に備えた地域密着」

- ③ 食事巡回（昼食時の内容調査） 25 回

(2) ケアプラン評価等事業

ケアプラン検討会において事業者等のケアプランを検証することにより、介護保険制度の要である介護支援専門員のケアマネジメント能力の向上及び居宅サービス計画の質的向上に努めた。

項 目	内 容 等
開催回数	12 回
出席者等	検討委員 4 名外、行政及び市社協職員
評価対象ケース	24 ケース 内訳 居宅介護支援事業所 16 ケース 地域包括支援センター 8 ケース ※松山市において対象事業所を選択
主な検証内容等	①利用者の生活状況の正確な把握と記載方法 ②インフォーマルサービスの導入等、自立支援に向けた個別性のあるケアプラン作成 ③利用者の課題・問題解決に向けた具体的な目標設定 ④病状悪化や疾病予防のための生活改善に向けた支援や医療との連携方法 ⑤利用者へのサービス事業所選択時における情報の提示や事業者への説明の徹底等

(3) 障害福祉サービス事業者等支援事業

障害福祉サービス事業者を対象に、訪問による聞き取りやアンケート調査を通じて把握した問題や課題解決に向けた各種の研修会を実施し、事業者の人材育成及び優良なサービスの確立に努めた。

① テーマ別・集団研修の実施

研修名	開催日	参加人数	内 容
集団研修	平成 23 年 11 月 10 日	37 名	東日本大震災被災地での障がい者支援
テーマ別 研 修	平成 23 年 10 月 14 日	34 名	接遇・マナー研修 施設従事者コース
	平成 23 年 10 月 31 日	22 名	接遇・マナー研修 在宅サービス従事者コース
	平成 23 年 11 月 14 日	40 名	コミュニケーション力 職場のメンタルヘルス
	平成 23 年 12 月 5 日	32 名	コミュニケーション力 チームワークと人間関係
	平成 24 年 2 月 9 日	45 名	クレーム対応研修 クレーム対応は聴くことから
	平成 24 年 2 月 16 日	45 名	クレーム対応研修 クレーム対応に活かすコミュニケーションスキル

②アンケート調査（研修に関する）実施

調査期間 平成 23 年 6 月 1 日～20 日

送付数 133 事業所・法人（対象 430 事業所）回答 89 ヶ所 回答率 67%